Panasonic

940

施工説明書
取扱説明書
保管用

一体型ＬＥＤベースライト
スクエアタイプ　埋込型

（一般屋内用）

	明るさタイプ	光色	パネル付点灯ユニット品番				
			乳白パネル	きらめき プリズムパネル	乳白パネル 深枠（白）	乳白パネル 深枠（黒）	マルチ コンフォート１５
□350タイプ	ＦＨＰ ２３形×４灯 高出力相当タイプ 適合本体品番 NNFK(NNFKH)25013	昼白色【５０００Ｋ】	NNFK27500	—	—	—	—
		白　色【４０００Ｋ】	NNFK27501	—	—	—	—
		温白色【３５００Ｋ】	NNFK27502	—	—	—	—
		電球色【３０００Ｋ】	NNFK27503	—	—	—	—
	ＦＨＰ ２３形×４灯相当タイプ 適合本体品番 NNFK(NNFKH)25013	昼白色【５０００Ｋ】	NNFK27400Ｊ	NNFK27410Ｊ	NNFK27420Ｃ	NNFK27430Ｊ	—
		白　色【４０００Ｋ】	NNFK27401Ｊ	NNFK27411Ｊ	NNFK27421Ｃ	NNFK27431Ｊ	—
		温白色【３５００Ｋ】	NNFK27402Ｊ	NNFK27412Ｊ	NNFK27422Ｃ	NNFK27432Ｊ	—
		電球色【３０００Ｋ】	NNFK27403Ｊ	NNFK27413Ｊ	NNFK27423Ｃ	NNFK27433Ｊ	—
	ＦＨＰ ２３形×３灯相当タイプ 適合本体品番 NNFK(NNFKH)25013	昼白色【５０００Ｋ】	NNFK27300Ｊ	NNFK27310Ｊ	NNFK27320Ｃ	NNFK27330Ｊ	—
		白　色【４０００Ｋ】	NNFK27301Ｊ	NNFK27311Ｊ	NNFK27321Ｃ	NNFK27331Ｊ	—
		温白色【３５００Ｋ】	NNFK27302Ｊ	NNFK27312Ｊ	NNFK27322Ｃ	NNFK27332Ｊ	—
		電球色【３０００Ｋ】	NNFK27303Ｊ	NNFK27313Ｊ	NNFK27323Ｃ	NNFK27333Ｊ	—
□275	ＦＨＰ ２３形×３灯相当タイプ 適合本体品番 NNFK(NNFKH)15014(J)	昼白色【５０００Ｋ】	NNFK17300Ｊ	NNFK17310Ｊ	NNFK17320Ｃ	NNFK17330Ｊ	NNFK17370Ｊ
		白　色【４０００Ｋ】	NNFK17301Ｊ	NNFK17311Ｊ	NNFK17321Ｃ	NNFK17331Ｊ	NNFK17371Ｊ
		温白色【３５００Ｋ】	NNFK17302Ｊ	NNFK17312Ｊ	NNFK17322Ｃ	NNFK17332Ｊ	NNFK17372Ｊ
		電球色【３０００Ｋ】	NNFK17303Ｊ	NNFK17313Ｊ	NNFK17323Ｃ	NNFK17333Ｊ	NNFK17373Ｊ

・上記（　）内は加工品番です。『　』内は、公共施設用照明器具型番です。
・特注品の適合本体品番：ＦＡＨＸ７、ＦＡＨＸ３０、ＦＴＥ９８０Ｄ、ＦＴＥ９８０ＤＳ、ＦＴＥ９８１Ｄ、ＦＴＥ９８１ＤＳ、ＮＳＲ８４Ｌ９、ＮＳＲ８３Ｌ９（以降、加工品番および特注品番の記載を省略します）。
・本照明器具はパナソニック製スクエアタイプ専用本体とパネル付点灯ユニットの組合せで性能を満足します。

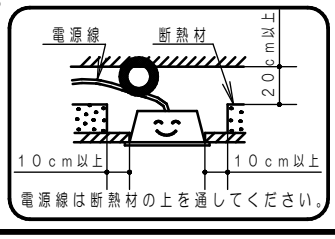
・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明　工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

⚠警告

●パネル付点灯ユニットを単独で使用しない。必ずパナソニック製スクエアタイプ専用本体とパネル付点灯ユニットの組合せで使用する。
　落下・感電・火災の原因となります。
●施工は、施工説明にしたがい確実に行う。　施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
●本体、パネル付点灯ユニットを分解、改造しない。　落下・感電・火災の原因となります。
●パネル付点灯ユニットが破損した状態で使用しない。落下、感電、火災の原因となります。
●表示された電源電圧（定格電圧±６％）・周波数で使用する。
　指定外の電源電圧・周波数で使用すると、感電・火災の原因となります。
●断熱材、防音材をかぶせて使用しない。火災の原因となります。
●水平天井埋込専用ですので、壁取付や天井直付はしない。
　落下・感電・火災の原因となります。



取説No. NNFK37400J－T13

⚠注意

●直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動の強い場所、雨水のかかる場所、腐食性ガスの発生する場所、
粉塵の発生する場所では使用しないでください。　落下・感電・火災の原因となります。
●周囲温度は、５～３５℃で使用してください。　指定外の周囲温度で使用すると、ちらつきや短寿命の原因となります。
●一般屋内でご使用の場合でも、器具周辺に硫黄成分が存在する場所では使用しないでください。
（一部の食品や薬品、車の排気ガスには硫黄成分が含まれます。）
光学性能に影響を与える場合があります。
●入力電圧が２４２Ｖの場合、漏洩電流を考慮し１回路当りの接続台数を下記の台数以下としてください。
（定格電流２０Ａ、感度電流３０ｍＡの漏電ブレーカの場合）
・ＦＨＰ２３形×４灯相当タイプ、ＦＨＰ２３形×３灯相当タイプ・・・指定なし
● 器具の取付・取外しは手袋などの保護具を使用する。けがの恐れがあります。

施工上のご注意

・センター１本吊りで本体を取付ける場合は、ダブルナットで取付けてください。
・キックバネに過度なカをかけないでください。変形・破損の原因となります。
・コネクタ接続の際は、必ず電源を切ってから行なってください。パネル付点灯ユニットの故障・短寿命の原因となります。
万一、通電状態でコネクタ接続を行った場合、電源ユニットの保護回路（発振停止機能）によりＬＥＤは点灯しません。
・スイッチを接地側に取付けた場合、消灯後も薄暗く発光する場合がありますので、必ず非接地側（電圧側）に取付けてください。
（接地側の無い電源では両切りスイッチをおすすめします。）
・入力電圧が２４２Ｖの場合、消灯直後、数回間欠点灯する場合がありますのでスイッチは必ず非接地側にお取付けください。
・Ｔ／Ｕ付６Ａリレーを使用する場合、照明器具の接続台数に制限があります。
詳細については、該当Ｔ／Ｕ付６Ａリレーのカタログ・商品仕様書をご参照ください。
・起動方式”ＬＡ””ＤＺ”の器具は、当社適合コントロールとの組合せにより、光出力を約１０～１００％に変化させることができます。
適合コントロールは当社製品をご使用ください。　適合コントロールの注意事項については適合コントロールの説明書をご確認ください。

■結線について
・コントロールの結線は、コントロールの説明書をご確認ください。
・電源線は低圧屋内配線工事、調光信号線は弱電流配線工事が必要です。
・調光信号線は電源線と束ねないでください。誤動作の原因となります。
・電線管をご使用の場合は、電源線と調光信号線を同じ管内に収納しないでください。

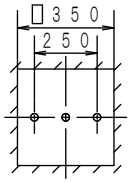
各部のなまえと取付方法

⚠警告

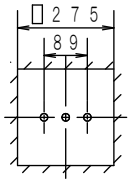
●パネル付点灯ユニットの取付・取外しの際は必ず電源を切る。
●施工は、施工説明書にしたがい確実に行う。
施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。

埋込穴・取付ボルト位置

（□３５０タイプ）
・取付ボルトは、
センター１本吊り
または
Ｐ＝２５０
２本吊りとなります。



（□２７５タイプ）
・取付ボルトは、
センター１本吊り
または
Ｐ＝８９
２本吊りとなります。

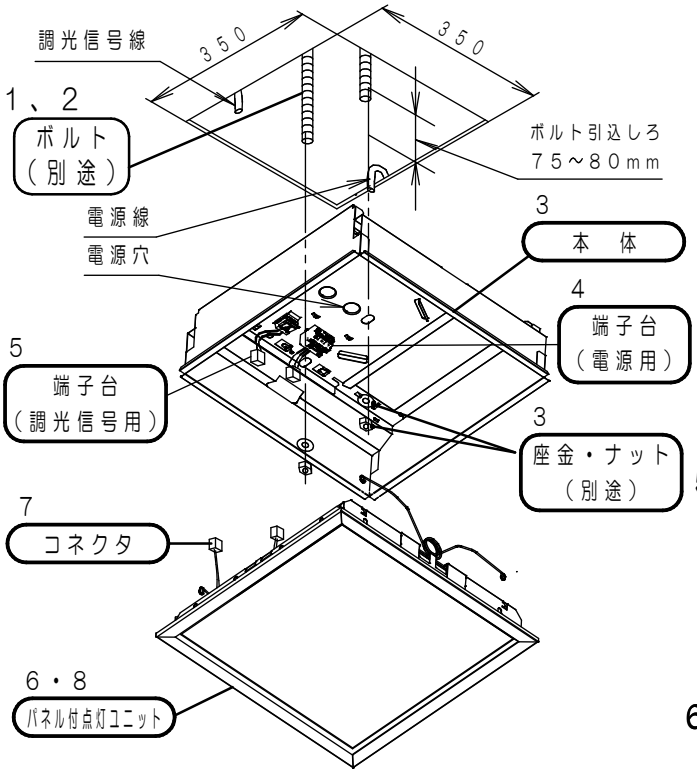


１ 取付前の確認
・器具質量（３．６ｋｇ：ＮＮＦＫ２７４２０Ｃ＋本体の場合）に
十分に耐えるよう、ボルト取付部の強度を確保する。
取付ボルトは、Ｗ３／８又はＭ１０を使用する。
・ボルトは極端な斜め出しにならないこと。
不備があると器具落下の原因となります。

２ 埋込穴の開口
・埋込穴、取付ボルトを図のように用意しておく。

各部のなまえと取付方法（つづき）

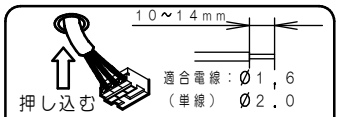
※ＮＮＦＫ２７４００Ｊ＋本体の例で説明しています



3 本体の取付

・電源線・アース線を本体の電源穴から引き込んでおく。
・調光信号線を本体の信号用穴から引き込んでおく。（調光器具の場合）
・内部配線を傷付けないように取付ける。
・本体を取付ボルトに確実に取付ける。
（推奨トルク：０．８Ｎ・ｍ）
（締め過ぎると器具・天井材が変形・破損する場合があります）
・ボルト１本吊りの場合、ダブルナットで取付ける。
・器具内線を座金やナットで挟み込んでいないか確認する。
不備があると器具落下・感電・火災の原因となります。

4 電源線・アース線の接続



・電源線、アース線を
確実に差し込む。
・Ｄ種（第３種）接地工事が必要。
・端子台の容量は、２０Ａです。
（送り機能付）

（注）電源線接続後、余分な電源線は反射板付点灯ユニットとの当たりを防ぐため電源穴へ押し込むか、電源線を押しつけて処理すること。

5 調光信号線の接続（調光器具の場合）

・「調光信号用」と表示のある端子台に接続する。
・調光信号線を確実に差し込む。
・調光信号線に極性はありません。
・端子台（調光信号用）の容量は１５Ａです。
接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、
正常に調光できなくなります。

6 パネル付点灯ユニットの仮吊り

・本体内面の▼マークとパネル付点灯ユニット背面の▲マークを合わせて曲げのあるキックバネを本体に引掛ける。
（□２７５・□３５０：１ヶ所）
（仮吊りは左図の仮吊り部で行う。
曲げ部で行うと８．パネル付点灯ユニットの取付が行いにくくなります。）
取付方向を間違えると、感電・火災の原因となります。

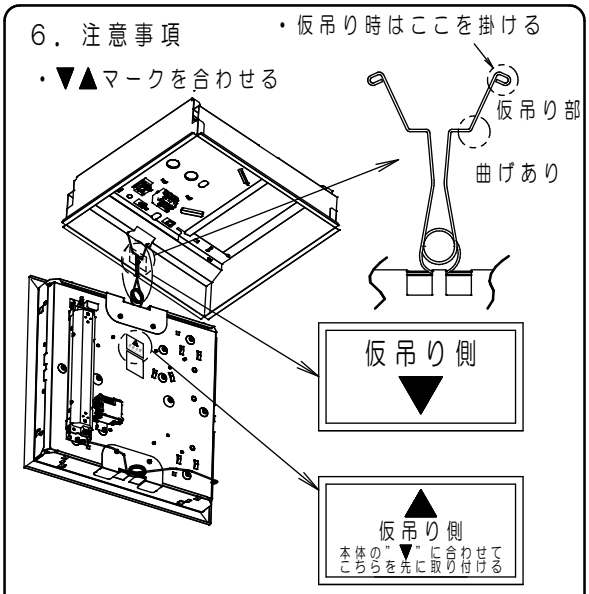
7 コネクタの接続

・コネクタを接続する。
「カチッ」っと音がするまで嵌め込んでください。

8 パネル付点灯ユニットの取付

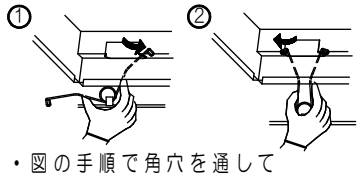
・パネル付点灯ユニットについている反対側のキックバネを本体に取付ける。
（□２７５・□３５０：１ヶ所）
・パネル付点灯ユニットを押し上げる。
・コネクタ及び器具内線を挟まないように注意する。
不備があると、パネル付点灯ユニットの落下・感電・火災の原因となります。

6．注意事項



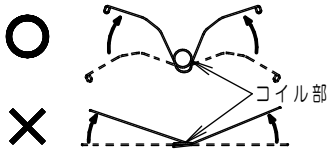
・本体内面の▼マークと
パネル付点灯ユニット背面の▲マークを合わせて
曲げのあるキックバネを本体に引掛けた後
コネクタを接続する。

＜キックバネ引掛け手順＞



・図の手順で角穴を通して
片側ずつ取付ける。

＜キックバネ取扱時注意点＞



・上図○のように扱ってください
誤った扱いをすると落下の原因となります。

取扱説明　お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠警告

●必ずパナソニック製スクエアタイプ専用本体とパネル付点灯ユニットの組合せで使用する。落下・感電・火災の原因となります。
●本体、パネル付点灯ユニットを分解、改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
●万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。
そのままで使用すると、感電・火災の原因となります。
●パネル付点灯ユニットを取外す場合は、必ず電源を切る。感電の原因となります。

取説Ｎｏ．ＮＮＦＫ３７４００Ｊ－Ｔ１３

⚠注意

●パネル付点灯ユニットの交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
●シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で器具を拭かないでください。変色、変質、強度低下による破損の原因となります。
水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
●照明器具には寿命があります。設置して１０年※経つと、外観に異常がなくとも内部の劣化は進行しています。点検交換してください。
ＬＥＤ光源は寿命が来ても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯出来るからといって継続して使用が可能というわけではありません。
※使用条件は周囲温度３０℃、１日１０時間点灯です。
●周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
●１年に１回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。３年に１回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
（チェックシート番号：ＣＬＸ２０２１ＨＡ）点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災に至る場合があります。

■ＬＥＤ照明器具の光源寿命（※2）は、４０，０００時間です。（照明器具の寿命とは異なります。）
※2：光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の８５％に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

使用上のご注意

●光源として高輝度ＬＥＤを使用しています。光源部（パネル付点灯ユニット部）を長時間直視しないでください。
●ＬＥＤ素子にバラツキがあるため、同じ品番のランプでも光色・明るさが異なる場合があります。予めご了承ください。
●ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
●同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
●周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
●ＬＡ，ＤＺ方式の場合
・電源電圧変動などの影響により瞬間的に明るくなったり暗くなったりする場合があります。予めご了承ください。
・光出力比（％）と目で感じる明るさ感には相違があります。
・コントロールと組合せて使用した場合、下記のような状態がありますが異常ではありません。
同一器具または同一品番で点灯および消灯時のフェードのしかたが異なる場合があります。
低い調光域では段調光のように動作する場合があります。
適合コントロール側のスイッチで消灯した場合、消灯後もパネル付点灯ユニットが薄暗く発光する場合があります。
・ＤＺ方式の器具は適合コントローラの仕様により、本器具仕様の調光範囲外でも設定の操作が出来ますが、
器具が指定する動作範囲内でご使用ください。

保証について

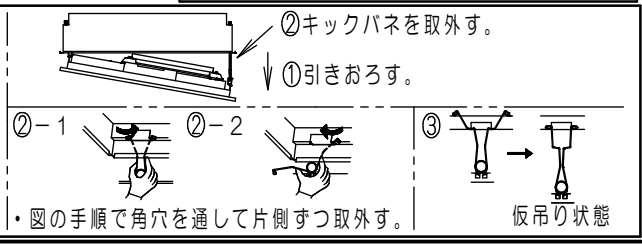
・保証について・・・・・・・・・この商品の保証期間は１年間です。但し、ＬＥＤ電源は３年間です。詳細は弊社カタログをご参照ください。
・保証書について・・・・・・・・保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
・補修用性能部品の保有期間・・・弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、６年間保有しております。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ・パネル付点灯ユニットの取外し

・器具の清掃について・・・・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質、強度低下による破損の原因となります。

⚠警告
●感電のおそれあり。
お手入れ時は、必ず電源を切ってください。

（パネル付点灯ユニットの取外し方）
① パネル付点灯ユニットを引きおろす。（右図のように斜めになります。）
② 下により下がる側のキックバネを取外す。
③ 仮吊り状態にし、コネクタを取外す。
（□６００のキックバネ３本で仮吊りする器具は、
端と中央の２本のバネを同時に緩めて下さい。）
④ 仮吊りしているキックバネを取外す。



■定格 ＜ＬＡ９方式＞

	ＦＨＰ２３形Ｘ４灯高出力相当タイプ			ＦＨＰ２３形Ｘ４灯相当タイプ			ＦＨＰ２３形Ｘ３灯相当タイプ		
定格電圧	AC100V	AC200V	AC242V	AC100V	AC200V	AC242V	AC100V	AC200V	AC242V
入力電流	０．３５A	０．１８A	０．１５A	０．２４A	０．１２A	０．１０A	０．１９A	０．１０A	０．０８A
消費電力	３５W	３５W	３４W	２４W	２４W	２４W	１９W	１９W	１９W

＜□２７５の場合＞ ＜ＬＥ９方式＞

乳白パネル・プリズムパネル 乳白パネル深枠（白／黒）				マルチコンフォート１５		
	ＦＨＰ２３形Ｘ３灯相当タイプ			ＦＨＰ２３形Ｘ３灯相当タイプ		
定格電圧	AC100V	AC200V	AC242V	AC100V	AC200V	AC242V
入力電流	０．１７A	０．０９A	０．０８A	０．２４A	０．１２A	０．１０A
消費電力	１７W	１７W	１８W	２４W	２４W	２４W

パナソニック株式会社 ライティング事業部　〒571-8686 大阪府門真市門真1048
お問い合わせ先 パナソニック 照明器具・ランプ商品ご相談窓口 https://sumai.panasonic.jp/support/
0120-187-441(フリーダイヤル)【受付時間】月～土/9:00～18:00(祝日・三が日を除く) ※携帯電話からもご利用になれます。
0120-872-460(FAX) Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787 Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

MN0616-130923